

(公財) 千葉県文化振興財団設立40周年記念・千葉県文化会館リニューアルオープン記念  
千葉県少年少女オーケストラ結成30周年記念



～日本音楽財団協定プログラム～

大谷康子

# 合奏クリニック



デビュー50周年を迎えたヴァイオリニスト大谷康子さん。  
長きにわたってコンサートマスターを務めた自身の経験を、  
千葉県少年少女オーケストラに伝授します！

- ◆ 日時 令和7年 8月15日(金) 13:00開演 (開場12:30)
- ◆ 会場 千葉県文化会館 大ホール (千葉市中央区市場町11番2号)  
※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- ◆ 出演 合奏指導：大谷 康子  
管弦楽：千葉県少年少女オーケストラ 音楽監督：佐治 薫子
- ◆ 入場方法 入場無料 (事前申込不要)  
※当日入場口で受付を行います。リハーサル開始後でもご入場いただけます。  
※入場者数が定員に達した場合、入場をご遠慮いただきますのでご了承ください。

主催： 日本音楽財団  
NIPPON MUSIC FOUNDATION

千葉県



公益財団法人  
千葉県文化振興財団

助成：



お問合せ： 千葉県少年少女オーケストラ事務局 043-222-0201 (千葉県文化会館内)

# PROFILE

## 大谷 康子 Yasuko Ohtani

東京藝術大学、同大学院博士課程修了。在学中よりソロ活動を始め、ウィーン、ローマ、ケルン、ベルリンなどでのリサイタル、トロント音楽祭、ザルツブルク市などに招待され、2017年にはウィーン楽友協会でもリサイタルを開催。

NHK響、モスクワ・フィル、スロヴァキア・フィル、シュトゥットガルト室内管、ウクライナ国立フィルなど、国内外の著名なオーケストラとも多数共演している。2019年にピアノの名手イタマル・ゴランと共演して、フランクとプーランクのヴァイオリン・ソナタのCDをリリース。ほかにも、「夢のあとに」「椿姫ファンタジー」といったアルバムや「R.シュトラウス/ベートーヴェン・ソナタNo.5」など、CDを多数リリース。著書に「ヴァイオリニスト 今日走る!」(KADOKAWA)がある。BSテレビ東京「おんがく交差点」では落語家の春風亭小朝と司会・演奏を務める。2010年、文化庁「芸術祭」で大賞を受賞。現在、東京音楽大学教授。東京藝大ジュニアアカデミー特別教授。(公財)練馬区文化振興協会理事長。川崎市市民文化大使。高知県観光特使。(公財)日本交響楽振興財団理事。(公社)日本演奏連盟理事。元東京藝術大学客員教授。2025年にデビュー50周年を迎えた。

日本音楽財団保有ストラディヴァリウス 1702年製ヴァイオリン「ロード・ニューランズ」を使用。



## 千葉県少年少女オーケストラ The Chiba Prefecture Youth Orchestra

1996年に佐治薫子氏を音楽監督に迎え、都道府県レベルでは全国初の少年少女によるオーケストラとして結成され、30年目を迎えた。団員は10歳から20歳までの160名で「よい音で、よい演奏を」をモットーに、土曜・日曜を利用して、県内各地から千葉県文化会館に集まり練習に励んでいる。

演奏活動は定期演奏会、地域演奏会や招待演奏など、県内外で数多く行っているほか、海外での公演も多く、これまでに米国、韓国、ドイツ、ブルガリアで演奏会を行い、好評を博した。また、「にんげんドキュメント」や「どれみふぁワンダーランド」、「題名のない音楽会」などテレビ番組にも多数出演。

2009年、これまでの活動が評価され、団体としては初めて「文化の日千葉県功労者表彰の文化功労」を受賞。

2017年の第21回定期演奏会で、ベートーヴェンの交響曲第4番を演奏、この4番をもってベートーヴェンの交響曲全9曲の演奏を果たした。2018年の第22回定期演奏会では下野竜也氏の指揮でブルックナーの交響曲第4番「ロマンティック」を演奏、8月にはドイツのトーンハレ・デュッセルドルフ・ユースオーケストラと交流演奏会を行った。2019年3月には1週間に3公演というスケジュールで、東京公演、題名のない音楽会の公開録画、第23回定期演奏会を井上道義氏の指揮、小曽根真氏のピアノで行った。特に、東京公演では、秋篠宮眞子内親王妃殿下並びに佳子内親王妃殿下のご臨席を賜り、サントリーホールにおいて初めての単独公演を行った。2024年3月31日には井上道義氏との最後の共演となった第28回定期演奏会を東京芸術劇場において開催、2025年3月30日に千葉市民会館において第29回定期演奏会を、翌日31日にはサントリーホールにおいて東京公演を、それぞれ指揮に下野竜也氏、バイオリンソロにレイ・チェン氏を迎えて開催するなど、益々充実した活動を続けている。

## 佐治 薫子 (音楽監督) Shigeko Saji

1935年木更津市生まれ。1956年千葉大学教育学部音楽科卒業、同年君津市立松丘中学校勤務。リード合奏の指導に情熱を傾け、バッハの音楽を中心に演奏活動をし、「山の中のバッハ」のタイトルで全国放送される。

1966年から船橋市立前原小学校へ転任。リード合奏からオーケストラ音楽への指導に専念。1976年に習志野市立谷津小学校へ転任し、1984年から市川市立鬼高小学校へ転任した。最後の4年間は再び谷津小学校で過ごし、1996年退職。教職40年間をひたすら音楽教育に情熱を傾け、その間40数回も子ども達を全国優勝に導いている。在職中テレビ・ラジオ出演も多数。また、サントリーホールやNHKホール、東京文化会館大ホール、中新田バッハホール、カザルスホール等での招待演奏、さらにニュージーランド演奏旅行等も経験している。

退職後1996年4月1日からは、千葉県少年少女オーケストラ音楽監督に就任した。2006年4月放映のNHK「にんげんドキュメント ～がんこ先生とぼくらのハーモニー～」では、音楽に情熱を傾ける姿が反響を呼び、2009年10月に再放映された。2007年2月には千葉テレビ「佐藤しのぶ出逢いのハーモニー」に単独出演(2010年3月1日に再放映)、また2009年9月には、NHK-BS2の「どれみふぁワンダーランド」の「匠の技」コーナーにおいてその指導法が紹介されるなど、テレビ・ラジオにも出演している。

[主な受賞] / 「サントリー地域文化賞」「千葉県教育功労賞」「市川市民栄誉賞」「国際ソロプチミスト賞」「習志野市教育文化功労表彰」「国際ソロプチミスト社会貢献賞【全国表彰】」「習志野市市政功労賞」「キワニスクラブ教育文化奨励賞」「千葉県文化功労賞」「NHK関東甲信越地域放送文化賞」「音楽教育功労賞【全国表彰】」 地域文化功労者表彰【全国表彰】(2016) 等  
出版されている本 / 森玲子著「バッハ先生と1000人の子どもたち」CD付き(D.ブレイン)  
森玲子著「ひろがればくらのハーモニー」(講談社) 他